

1. 科目名 (単位数)	暮らしと経済 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP1118
2. 授業担当教員	藤高 美海		
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション (学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等) を伴ったものにする。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	経済学関連科目を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	日常、テレビや新聞で見聞きする、我々の身近な生活を取り巻く経済問題を、経済学的な観点から考察する。またそれらの経済問題を題材にして、経済学的なものの考え方を身につける。経済問題や経済学という何かとつきにくく、縁遠い感覚を覚えるかもしれないが、実際には、意外とシンプルで、いったん身につけてしまうと、今後の社会生活を営んで行く中でも非常に便利なツールとなることがわかる。この講義を通じて、その生きていく上で有効なツールとしての経済学的な考え方が自然と身につくことを目指す。また、これまでなんとなく気になっていたにも関わらず未理解だった経済問題に整理をつけていくことを目指す。今回は日本経済を中心に学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、日本経済でどのようなことが起こり、問題になっているかを認識する。 2. 現在の日本を取り巻く経済問題を経済学の枠組みでとらえ直す。 3. 経済学 (ミクロ経済学、マクロ経済学) の基本的な考え方を身につける。 4. 数式やグラフを通じて物事を整理するという習慣を身につける。 5. 今後、日本や世界で展開する経済問題に関心がもてるようにする。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	アサインメントは特に課さない。授業内容と関連したレポートを課す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 小峰隆夫・村田啓子『最新 日本経済入門 (第 6 版) 』日本評論社、2020 年。 【参考書】 藤井彰夫『シン・日本経済入門』日経文庫、2021 年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学に関する基礎的・基本的事項を理解し説明できる。 2. 身近な暮らしにおいて経済学的な考え方ができる。 ○評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加 総合点の 30% 2. 課題レポート 総合点の 30% 3. 期末試験 総合点の 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	本講義では、私たちの暮らしの中にある経済の仕組みや課題を経済学の視点から丁寧に読み解いていきます。ぜひ積極的に授業へ参加し、欠席・遅刻・早退は避け、必要な場合は連絡すること。分からない点は質問し、私語や居眠りをせず集中して受講すること。課題の期限は必ず守ってください。皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。		
13. オフィスアワー	初回授業内にて周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション / 私たちの生活と経済 ・ 経済学を学ぶ意義と本講義の位置づけ ・ 日常生活と経済のつながり ・ 日本経済を理解するための基本視点	事前学習	教科書を準備し、経済について考えてくる。
		事後学習	授業内容を振り返り、自分の生活と経済のつながりを整理する。
第 2 回	日本経済の全体像 ・ 日本経済の特徴 ・ GDP と経済規模の把握 ・ 日本経済が直面する主要課題の整理	事前学習	教科書の第 1 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容を確認し、日本経済の特徴を自分なりにまとめる。
第 3 回	日本の経済成長 ・ 経済成長のメカニズム ・ 高度成長期から低成長期への転換 ・ 成長率低下の背景と今後の展望	事前学習	教科書の第 2 章を読んでくる。
		事後学習	経済成長の要因について、授業内容を踏まえて整理する。
第 4 回	景気循環 ・ 景気の波とその要因 ・ 景気指標の読み方 ・ 日本の景気変動の特徴	事前学習	教科書の第 3 章を読んでくる。
		事後学習	景気の変動が生活に与える影響について考察する。
第 5 回	日本型雇用慣行 ・ 終身雇用と年功賃金と企業内組合の特徴 ・ 雇用慣行が経済成長に与えた影響 ・ 働き方改革と雇用システムの変化	事前学習	教科書の第 4 章を読んでくる。
		事後学習	日本の雇用制度の特徴をまとめる。
第 6 回	産業構造の変化 ・ 産業の高度化とサービス化 ・ 製造業の競争力と課題	事前学習	教科書の第 5 章を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。

	・新産業とイノベーションの重要性		
第7回	物価の変動 ・インフレとデフレの仕組み ・日本の長期デフレの背景 ・物価安定と経済政策の関係	事前学習	教科書の第6章を読んでくる。
		事後学習	インフレ・デフレの仕組みを自分の言葉で説明できるようにする。
第8回	貿易と国際収支 ・日本の貿易構造の特徴 ・国際収支の読み方 ・貿易黒字・赤字の意味と誤解	事前学習	教科書の第7章を読んでくる。
		事後学習	貿易の役割と国際収支の意味を整理する。
第9回	為替レート ・為替レートの決め方 ・円高と円安が企業と家計に与える影響 ・日本の為替政策の特徴	事前学習	教科書の第8章を読んでくる。
		事後学習	為替レートが経済に与える影響をまとめる。
第10回	グローバル化と日本経済 ・グローバル化の進展と国際分業 ・企業の海外展開と国内産業への影響 ・グローバル化のメリットとデメリット	事前学習	教科書の第9章を読んでくる。
		事後学習	グローバル化のメリット・デメリットを整理する。
第11回	日本の財政 ・財政の役割 ・財政赤字と国債の現状 ・財政再建の課題と選択肢	事前学習	教科書の第10章を読んでくる。
		事後学習	財政の役割と課題について考察する。
第12回	経済と金融 ・金融の役割 ・金融政策と日本銀行の役割 ・金融システムの安定性と課題	事前学習	教科書の第11章を読んでくる。
		事後学習	金融の仕組みと経済との関係を整理する。
第13回	格差問題 ・所得格差と資産格差の現状 ・格差が生じる要因 ・格差是正の政策とその効果	事前学習	教科書の第12章を読んでくる。
		事後学習	格差が生じる要因とその影響をまとめる。
第14回	社会保障 ・社会保障制度の構造 ・少子高齢化が制度に与える影響 ・持続可能な社会保障のあり方	事前学習	教科書の第13章を読んでくる。
		事後学習	社会保障制度の役割と課題を整理する。
第15回	総括 ・日本経済の全体像の再整理 ・経済学的思考の定着 ・今後の日本経済を考える視点の獲得	事前学習	これまでの授業内容を整理しておく。
		事後学習	学んだ内容を総合的に振り返り、理解を深める。